

「(仮称) 大阪市における区画整理のあり方」策定支援業務委託  
にかかると公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

「(仮称) 大阪市における区画整理のあり方」策定支援業務委託  
契約期間 契約締結日から令和9年3月31日まで

2 選定した優先交渉権者

日本工営都市空間株式会社

3 公募期間

令和8年2月9日から令和8年3月16日まで

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿 (敬称略) (五十音順)

委員氏名	役職等
大沢 昌玄	日本大学 理工学部土木工学科 教授
佐久間 康富	和歌山大学 システム工学部システム工学科 教授
森 知晴	立命館大学 総合心理学部総合心理学科 准教授

(2) 選定会議の開催日

第一回選定会議 令和8年1月28日

第二回選定会議 令和8年3月27日

(3) 審査基準

項目区分	評価項目	配点
提案内容の有効性	あり方作成に向けた取組方針	30
	沿街実施の手法等の整理	20
	施策促進と市民への情報発信	20
事業者の体制・実績	実施体制・スケジュール	10
	類似業務の実績	20
合計		100

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

株式会社サンワコン  
日本工営都市空間株式会社  
日本都市技術株式会社 全3者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点と平均点数）※平均点数の高い順

審査内容	提案者 A	提案者 B	提案者 C
あり方作成に向けた取組方針	84	77	52
沿街実施の手法等の整理	52	49	40
施策促進と市民への情報発信	54	52	37
実施体制・スケジュール	28	28	23
類似業務の実績	60	60	60
合計（300点満点）	278	266	212
※参考（3委員の平均点数）	93	89	71

(6) 委員からの講評および付帯意見

- ・いずれも実績のある3者から意欲的な提案があった。
- ・提案者 A は、あり方策定に向けた取組方針について、類型化などあり方の分析方法に独自の提案があった。また、情報発信ツールについてより効果的な手法の提案があった。
- ・沿道整備街路事業の事業実施に向けた手法の検討にあたっては、一般的な街路事業との違いをわかりやすく整理し、地権者の方々がより良い選択ができるよう市と調整し工夫しながら進めてもらいたい。